

(4) キャリアパス要件 I・II

【新加算 I～IV・V(1)～(6)・V(8)・V(11)、旧処遇 I・II】

⇒ キャリアパス要件 I と II の両方を満たすこと。

該当

キャリアパス要件 I (任用要件・賃金体系の整備等)

次の中から、すべての基準を満たす。

イ	福祉・介護職員の任用における職位、職責又は職務内容等の要件を定めている。
ロ	イに掲げる職位、職責又は職務内容等に応じた賃金体系を定めている。
ハ	イ、ロについて、就業規則等の明確な根拠規定を裏面で整備し、全ての福祉・介護職員に周知している。

キャリアパス要件 II (研修の実施等)

次のイとロの両方の基準を満たす。

イ	福祉・介護職員の職務内容等を踏まえ、福祉・介護職員と意見交換しながら、資質向上の目標及び①・②のうち少なくともいずれかに関する具体的な計画を策定し、研修の実施又は研修の機会を確保している。						
イの実現のため の具体的な取 組内容 (該当する項目 にチェック) した上で、具体 的な内容を記 載)	<table border="1"> <tr> <td>①</td> <td>資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、福祉・介護職員の能力評価を行う。 ※当該取組の内容について以下に記載すること ・職種や重点の療育についての専門知識をもつ講師をよび研修を行う</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>資格取得のための支援の実施 ※当該取組の内容について以下に記載すること ・月2回以上チームアプローチを行い、業務の中で気づきの共有やお互いへのフィードバックを行う。 ・年10回以上事例検討や勉強会を行う</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>相談支援従事者初任者研修・サード管理責任者等の研修受講を推奨し、費用を法人で負担し研修に参加できる勤務体制を調整する</td> </tr> </table>	①	資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、福祉・介護職員の能力評価を行う。 ※当該取組の内容について以下に記載すること ・職種や重点の療育についての専門知識をもつ講師をよび研修を行う	②	資格取得のための支援の実施 ※当該取組の内容について以下に記載すること ・月2回以上チームアプローチを行い、業務の中で気づきの共有やお互いへのフィードバックを行う。 ・年10回以上事例検討や勉強会を行う	③	相談支援従事者初任者研修・サード管理責任者等の研修受講を推奨し、費用を法人で負担し研修に参加できる勤務体制を調整する
①	資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、福祉・介護職員の能力評価を行う。 ※当該取組の内容について以下に記載すること ・職種や重点の療育についての専門知識をもつ講師をよび研修を行う						
②	資格取得のための支援の実施 ※当該取組の内容について以下に記載すること ・月2回以上チームアプローチを行い、業務の中で気づきの共有やお互いへのフィードバックを行う。 ・年10回以上事例検討や勉強会を行う						
③	相談支援従事者初任者研修・サード管理責任者等の研修受講を推奨し、費用を法人で負担し研修に参加できる勤務体制を調整する						
ロ	イについて、全ての福祉・介護職員に周知している。						

(5) キャリアパス要件 III 【新加算 I～III、V(1)・(3)・(8)、旧処遇 I】

キャリアパス要件 III (昇給の仕組みの整備等)

次のイとロの両方の基準を満たす。

イ	福祉・介護職員について、経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期的に昇給を判定する仕組みを設けている。						
イの具体的な仕組みの内容(該当するもの全てにチェック)すること。	<table border="1"> <tr> <td>①</td> <td>経験等に応じて昇給する仕組み ※「勤続年数」や「経験年数」などに応じて昇給する仕組みを指す。</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>※「介護福祉士」や「実務者研修修了者」などの取得に応じて昇給する仕組みを指す。ただし、介護福祉士資格を有して就業する者についても昇給が図られる仕組みであることを要する。</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>一定の基準に基づき定期的に昇給を判定する仕組み ※「実技試験」や「人事評価」などの結果に基づき昇給する仕組みを指す。ただし、客観的な評価基準や昇給条件が明文化されていることを要する。</td> </tr> </table>	①	経験等に応じて昇給する仕組み ※「勤続年数」や「経験年数」などに応じて昇給する仕組みを指す。	②	※「介護福祉士」や「実務者研修修了者」などの取得に応じて昇給する仕組みを指す。ただし、介護福祉士資格を有して就業する者についても昇給が図られる仕組みであることを要する。	③	一定の基準に基づき定期的に昇給を判定する仕組み ※「実技試験」や「人事評価」などの結果に基づき昇給する仕組みを指す。ただし、客観的な評価基準や昇給条件が明文化されていることを要する。
①	経験等に応じて昇給する仕組み ※「勤続年数」や「経験年数」などに応じて昇給する仕組みを指す。						
②	※「介護福祉士」や「実務者研修修了者」などの取得に応じて昇給する仕組みを指す。ただし、介護福祉士資格を有して就業する者についても昇給が図られる仕組みであることを要する。						
③	一定の基準に基づき定期的に昇給を判定する仕組み ※「実技試験」や「人事評価」などの結果に基づき昇給する仕組みを指す。ただし、客観的な評価基準や昇給条件が明文化されていることを要する。						
ロ	イについて、全ての福祉・介護職員に周知している。						

⇒上記が「×」の場合、令和6年度中の整備を誓約すること。

令和6年度中(令和7年3月末まで)に昇給の仕組みを整備します。